

令和4年度 麻生区市民提案型協働事業中間報告書

○ふらっとリビング ～多世代交流型居場所作り～ 事業 （ふらっと新百合ヶ丘）	・・・ P 1
○おか庭クラブ（おか庭クラブ）	・・・ P 3
○麻生区 SDGs 推進隊（一般社団法人サステナブルマップ）	・・・ P 5
○岡上地域のグリーンツーリズム 農福連携と情報発信 （特定非営利活動法人 岡上アグリ・リゾート）	・・・ P 7
○あさおホッププロジェクト！みんなでつくるグリーンカーテンのまち （あさおホップ実行委員会）	・・・ P 9

令和4年度麻生区市民提案型協働事業 中間報告

団体名（ ふらっと新百合ヶ丘 ）		
事業名（ ふらっとリビング ～多世代交流型居場所作り～ ）		
① 事業の概要	少子高齢社会の到来に備えて、子育て世代やシニア世代の隣近所との関係の希薄化・コミュニティの衰退を防ぐために、食育やワークショップを通して多世代が交流することで、居場所づくり・互助のできるコミュニティづくりを目的とする。 毎月第2水曜に、コミュニティ形成を目的のひとつにした施設 café&spaceL.D.K.という地域の場を利用して、地域の子どもたちやシニア世代の方を対象とした食育・体験・交流ワークショップを開催する。また、定期開催だけでなく、農園体験やオンラインなども活用したアウトリーチ企画も行い、他団体との連携やつながりを拡大していく。 ・地域で活動する団体、個人の方、自治会、企業、大学等とも連携した運営を行う。 ・多世代の顔見知り状態を目指し、見守りや地域交流ができるきっかけを作る。 ・地域の大人や子どもにとって、参加者としてだけでなく、スタッフとして受け入れるなど、活躍機会創出・サードプレイスとしての機能も果たす。 なお、新型コロナウイルスの収束が見えない中では、衛生面にも十分配慮し、感染拡大防止の対策を十分に講じる。 ・継続的なふらっとリビングの際に、毎回、食育や防災をテーマにしたカードを作成・配布し、家庭での普及へと広げる。	
② 上半期（9月末まで）の事業の取組状況	取組の経過	取組に伴う効果
	5月13日（水）ふらっとリビング 内容：食の防災訓練「きゅうり」明治大学農学部「世界のお料理マップ」佐藤勝昭さん「光と色のふしぎ体験をしよう」 6月9日（水）ふらっとリビング 内容：食の防災訓練「お水、備蓄」明治大学農学部「郷土料理の〇×ゲーム」unicocco「ペーパービーズで工作」 6月18日（土）「栗の木ファームで、じゃがいもの収穫お手伝いをしよう！」 7月13日（水）ふらっとリビング 内容：食の防災訓練「補水液を作ってみよう」明治大学農学部「オリジナル水族館を作ろう」音楽工房 座 MARU「楽器を作って、奏でよう！」 7月17日「農家さんのお話とブルーベリー狩り」 ※8月6日15時に予定していたオンラインお料理教室は中止。2名のお申し込みをいただきましたが、キャンセルが出ました。 8月17日（水）ふらっとリビング 内容：夏祭り夕涼み会「水ヨーヨー」「スーパーボールすくい」「さかなつりゲーム」「野菜わなげ」「けん玉やヨーヨー」「あさおの未来を描く絵画」 9月14日（水）ふらっとリビング 内容：食の防災訓練「くだもの」「川崎の竹を使って、ブンブンこま」昔遊び「けん玉、コマ遊び」 ・アンケートの実施 ・登録シートによる適切な情報管理 ・ホームページの更新 ・LINEの配信 ・参加者向けふらっとリビング説明マニュアル更新 ・衛生チェックリストの更新	・食育を楽しみながら学べる ・地元の団体を知り、一緒に活動する機会となる ・感染拡大防止対策と衛生管理の向上 ・他団体の出張講座により多世代で学びの時間 5/13 参加人数：子ども15、大人1 ※初めて参加子ども2 6/9 参加人数子ども18、大人5 ※初めて参加子ども2、大人1 7/13 参加人数子ども11、大人2 ※初めて参加子ども2 7/17 参加人数 20 家族 8/17 参加人数：子ども24、大人7 ※初めて参加子ども9 大人2 9/14 参加人数：子ども12、大人1 （参加きっかけ） ・大人：チラシで知りました ・大人：LINEで知りました ・子ども：お友達から教えてもらった（衛生面） ・大人：きれいです ・子ども：きれい 【チラシの配布】 ・5/25 ふらっとリビング募集チラシを近隣小学校へ配布 ・9/29 ふらっとリビング募集チラシを近隣小学校へ配布

② 課題と改善方法	・15時半スタートのためか、学校から直接向かう子が増えてきたため、保護者との連絡を密に取っていきたい ・ロコミしてもらえることが増え、遊びを楽しみにしてくれる子が増えたが、食育をテーマにしていることをきちんと伝えていきたい ・地域人材の発掘や活躍機会創出のきっかけがスタートできていないので、麻生区社会福祉協議会とのボランティア育成講座を予定している
③ 下半期（3月末まで）の取組予定	10月12日（水）ビールの材料のホップを使って、緑色の宝石のアクセサリーを作ろう！（麻生ホッププロジェクト） 10月23日（日）サツマイモ収穫体験（アウトリーチ企画②） ソーマトロープ作り（KAWASAKI アーツ/KAWASAKI しんゆり映画祭） 11月9日（水）お友達の似顔絵を書いてみよう！（柿生在住の漫画家まほろん） 12月14日（水）自然小物でクリスマスグッズを作ろう！（栗平郵便局協力） 1月11日（水）海洋プラスチックを学ぼう！みつろうラップを作ろう！（NPO サステナブルマップ） 2月9日（水）豆つかみ大会・節分の絵本（カジノヤ納豆）

令和4年度麻生区市民提案型協働事業 中間報告

団体名（	おか庭クラブ	）
事業名（	おか庭クラブ	）
①事業の概要	花を育て、大切に思う人たちを地域に増やしていくことで、地域を美しい、明るく、住みやすいまちづくり・地域のつながりづくりを目的とする。地域文化財の環境整備に協力し、地域に関心・愛着をもつ人々を増やす。 1 地域の人達のいこいの場となったさんかくガーデン・馬頭観音ガーデンの管理作業・花壇づくりの支援（相談、ガーデンで取れた種の配布） 2 植物に関する講習会「からむし講座」の開催（啓蒙） 3 岡上内の地域文化財の環境整備(清掃活動) ④おか庭クラブのプレート作成・配布（啓蒙・広報）	
②上半期（9月末まで）の事業の取組状況	取組の経過	
	○さんかくガーデン・馬頭観音ガーデン整備作業 （毎月第3土曜日午前実施） 5月21日管理作業(雑草取り・花壇手入れ) 6月18日管理作業(雑草取り・花壇手入れ) 7月16日管理作業(雑草取り・花壇手入れ・花の植え付け) 8月20日管理作業(雑草取り・花壇手入れ・苧麻伐採) 9月17日管理作業(雑草取り・花壇手入れ) ○岡上内地域文化財環境整備活動(清掃) 9月25日(日) ○からむし講座（対象：大人・親子） 7月24日からむし講座 13：00～16：00 7月31日からむし講座 13：00～16：00  ○啓発プレート作成・ネームプレート・配布 	取組に伴う効果 ○さんかくガーデン・馬頭観音ガーデン管理作業参加者 5月21日16名、6月18日10名、7月16日13名、8月20日11名、9月17日8名　計58名 5月6月が両ガーデンを同時に作業。7月からは、さんかくガーデン中心に作業を行った。 ○岡上内地域文化財環境整備活動(清掃) 9月25日　参加者　3名 ○からむし講座 7月24日　参加者　10名 7月31日　参加者　8名 ○9月より、啓発プレート・ネームプレートを配布開始

③課題と改善方法	・新しい馬頭観音ガーデンが増えたことで、地域の方にも花壇がより身近なものに感じてもらえるようになった。作業中にも、声をかけてもらう機会も増えているが、ボランティア作業に気軽に参加してくれるところまでは広がっていない。配布をはじめた啓発プレートを通して、地域への周知を地道に広げていきたい。
④下半期（3月末まで）の取組予定	○さんかくガーデン・馬頭観音ガーデン整備作業 （毎月第3土曜日午前実施） 10月15日管理作業(雑草取り・花壇手入れ) 11月12日管理作業(雑草取り・花壇手入れ) 12月10日管理作業(雑草取り・花壇手入れ) 1月14日管理作業(雑草取り・花壇手入れ) 2月11日管理作業(雑草取り・花壇手入れ) 3月11日管理作業(雑草取り・花壇手入れ) ○岡上内地域文化財環境整備活動(清掃) ○啓発プレート・ネームプレート・配布

令和 4 年度麻生区市民提案型協働事業 中間報告

団体名（一般社団法人サステナブルマップ）		
事業名（麻生区 SDGs 推進隊）		
① 事業の概要	麻生区内在住の小学校 4 年生～中学校 3 年生までを対象に横断的に推進隊メンバーの募集 昨年度は実施できなかった企業訪問や他団体との協働によって、区内にあるヒトモノコトの可視化をさらに深掘りし、サステナブルマップを作成し、各校に配布する。 SDGs に取り組む姿をプロモーション動画として作成、広報物とする。 最後の活動で麻生区子ども SDGs フォーラムを開催。	
② 上半期（9 月末まで）の事業の取組状況	取組の経過	取組に伴う効果
	第 1 回（7/16 実施 王禅寺エコ暮らし環境館） ① SDGs 推進隊任命式、SDGs についての講話 ② 麻生区こども SDGs 宣言 第 2 回（8/7 新百合ヶ丘 3 ショッピングセンター訪問 SDGs につながる情報探し） 第 3 回（8/21 麻生区役所） NPO 法人アイゼン 子ども食堂についての運営や実態について知る 第 4 回（9/19 黒川青少年野外活動センター） 市民団体 Ally の森 藤本様をお招きして、多様性についての講話（LGBTQ） スピンオフ 9/10 伸和コントロールズ株式会社 事業内容と SDGs、ミートフリーな食事をいただく 9/23-25 しんゆり 3（イオン、OPA、エルミロード）との共催イベント、SDGs ウォークラリーの企画運営と参加 本年度応募者：41 名 本年度参加総数：40 名	昨年度から継続して参加しているメンバー 19 名に、新規メンバー 21 名を加え、40 名で活動している。 メインとなる活動以外にも、市民団体主催イベントでの子どもたちの登壇や、伸和コントロールズ株式会社様に訪問させていただき、技術や考え方だけでなく、「地域で生きていく」ことを肌で感じられる時間を創出できていると考えている。
① 課題と改善方法	昨年度から参加メンバーが倍増したことによる制限（特に場所）について考える必要がある。 保護者も含めれば 120 名以上の所帯となることから、フォーラム開催時の場所の選定も考慮する必要がある。早めに日程を確定させ、準備を進めていく。	

③ 下半期（3月末まで）の取組予定	第5回（10/16）第6回（11/13） ① SDGs マップ作成作業 ※SDGs フォーラムの案内文作成 役割決めなど 第7回（12/4） 北海道上士幌町 SDGs 担当者との ZOOM 会 1月に実施するフォーラムの内容決め 第8回（1/21 または 22） 麻生区 SDGs フォーラムの実施（予定）
------------------------------	--

令和4年度麻生区市民提案型協働事業 中間報告

団体名（ NPO 岡上アグリ・リゾート ）		
事業名（ 岡上地域グリーンツーリズム 農福連携と情報発信 ）		
①事業の概要	麻生区独自の「農福連携」について考え、「グリーンツーリズム×障害者雇用創出」として、川崎市健康福祉局と連携し、農業から生まれる働き方について取り組む。グリーンツーリズムの一番の醍醐味である収穫体験のための野菜栽培から収穫体験の運営に至るまで行う。 また、麻生区岡上地域は自然を肌で感じることでできる地域である。しかし身近にあるはずの場所であるが、麻生区の進めるグリーンツーリズムに対する情報が不足している。せっかく農業や自然に触れる機会があるのにも関わらずとても残念なことである。まずは情報の発信を行うことが必要であると考えている、そしてその情報を元に岡上地域に足を運んでいただき、実際に地域資源の魅力を体験していただく機会を作る。	
②上半期（9月末まで）の事業の取組状況	取組の経過	取組に伴う効果
	■グリーンツーリズムイベント 第1回(8/11) ワイン用ブドウの収穫体験 第2回(9/24) さつまいも掘り体験 *さつまいも掘り体験は雨天中止となりました。 ■農福連携 9/30(金)さつまいも掘り作業（就労体験） 川崎市健康福祉局と連携し雇用のかたちについて話し合った。農業に触れたことのない就労者に、実際に何ができ何ができないのか、検証を行った。 ■情報発信によるホームページの作成 岡上地域の各団体にどのような情報を載せるのが良いのかをヒヤリングした。	■グリーンツーリズムイベント 天候に左右されてしまう事や、生育状況によって情報の発信が直前になってしまうため募集に不安があったが、全て定員を超えて応募があった。 参加者からの反応も良く岡上地域を知っていただく機会ができたと感じている。 ■農福連携 麻生区では農業での障害者の雇用の事例が少なくどのように取り組むのか話し合い、まずは大学生と一緒にさつまいも収穫を体験していただいた。やはり初めてということもあり、外部の方との触れ合いには難しい部分もあったが、参加者からは「農業に触れて楽しみながら就労体験ができた」と、次の機会を期待していただけたことは第一歩となったのではないかと思います。 ■情報発信によるホームページの作成 当初は農業体験等のイベントを載せたものではあったが、地域のヒヤリングを行ったところ、「岡上地域には重要文化財など貴重なものがある、載せるのか良い」など積極的に意見をいただいた。スケジュールの関係もあるがより良いものにしていきたいと考えている。

③ 課題と改善方法	課題はグリーンツーリズムのイベントは天候に左右されることである、今後は室内でも行える体験なども検討したいと考えている。
④ 下半期（3月末まで）の取組予定	■グリーンツーリズムイベント（予定） 第3回(10/9) 秋の収穫体験 第4回(11/3) 岡上ヌーボーと地域の大学間連携によるイベント 第5回(11月頃) ゆずの収穫とゆずポン酢づくり 第6回(12月頃) 稲藁を使ったしめ縄飾り ■農福連携（予定） 10月 お米の脱穀作業 11月 玉ねぎの植え付け作業 12月 お米の梱包作業 ■情報発信によるホームページの作成 岡上地域の重要文化財の調査を行い情報をまとめる。

令和4年度麻生区市民提案型協働事業 中間報告

団体名（あさおホップ実行委員会）		
事業名（あさおホッププロジェクト!みんなでつくるグリーンカーテンのまち）		
①事業の概要	住宅地が増加する一方で緑は減少しています。地域の未来を見据え、有志の家庭でホップを育成し新しい人の輪を広げるとともに、個人による自発的な緑化推進を手助けし、緑と優しさ溢れる住みやすい地域づくりに貢献します。有志を募り個々人の家庭などを中心にホップを育てます。有志には育成キットとして、ホップの苗と肥料をお渡しします。またホップの育成、カーテン設置方法、病害虫対策、ビール以外のホップの使い道などの勉強会や、相互的な報告会を定期的に行い、専用HPやSNSなども活用して交流を深めます。ゴールはホップのグリーンカーテン完成と毬花の収穫です。収穫した毬花はビールに浮かべて乾杯し、ツルを使ってホップリースづくりなどを行います。	
上半期（9月末まで）の事業の取組状況	取組の経過	取組に伴う効果
	■5/29、31、6/5 説明会（区役所会議室） 内容：ホップの剪定方法やつるの巻き方などの講習及び苗と育成キットの販売。 ※5/31のみ CarnaEst 山田さんによるホップ育成のコツについて講演を実施。 ■5月～ SNS での交流 Facebook を通じて、メンバー同士でのホップの成長報告や育成相談等を実施。 ■6/11 植え付け会（片平共同畑） 雑草抜き、苗の植え付け ■6/25 情報交換会（CarneEst ワイナリーの敷地） 各メンバーの育成状況の報告や育成方法に関する情報交換等 ■7/9、9/10 月1回定期お手入れ会（片平共同畑） ※8月は台風のため中止。 雑草抜き、水やりなど。9月は毬花の収穫を実施。  ■9/10 イヤリングづくり（区役所会議室） 共同畑で育てたホップをメンバーで収穫し、毬花をレジンで固め、イヤリングを作成。	■説明会 参加人数：3日間計24名参加 育成キット販売数：合計23個 ■SNS での交流 参加メンバー同士でも成長の記録や育成方法等情報交換を日常的に行い、コミュニティが創出されていた。 ■植え付け会 参加人数：17名 育成キット販売数：2個 ■定期お手入れ会 参加人数：毎回4～10名程度 日常的な交流はSNSが中心だったが、リアルでのお手入れ会も定期的を実施することで、さらにメンバーは仲を深めていった。また共同畑で手入れを一緒に行うことで、そこで学んだことを各家庭での育成にも活かすことができた。 9月のお手入れ会では、毬花の収穫をし、蒸留酒の香りづけや天ぷら、リースなどの様々な活用方法の情報交換をし、メンバーの多くが各家庭で実際に試して、楽しんでいた。 ■6/25 情報交換会 参加者：24名 ■イヤリングづくり 参加者：4名 イヤリング作成の他にも収穫したホップの活用方法など情報交換を行った。 【各家庭での育成について】 各家庭で25個、共同畑に3個、片平の山林の斜面に自生を期待して2個植え付けをした。多くのメンバーが2階までつるを伸ばし、毬花を収穫する方もおり、グリーンカーテンによる地域での緑化に貢献できたと感じた。片平の共同畑は、地植えのためか爆発的な成長を見せ、毬花が鈴なりになるほど大量に実った。

③課題と改善方法	・SNSに登録と参加をしないメンバーもあり、個別にメールで活動の連絡をしているが、今後はメンバーリストを作成し、効率的に連絡を取れるようにしたいと考えている。 ・病気による成長抑制でつるが成長しない方もおり、育成の早い段階で薬の散布等の必要な情報共有をしていく必要があったと感じた。
④下半期（3月末まで）の取組予定	■毎月第2土曜：お手入れ会(片平共同畑) 10月： ・しんゆりフェスティバルマルシェにて、あさおホッププロジェクトの活動の宣伝 ・「ふらっとリビング」で子どもたちにホップの説明とホップを使ったアクセサリーを作る講座 11月：講習会「枯れつるの処理方法」 12月：講習会「株分けの方法」 2月：各家庭で株分けを実施。 3月：育成報告会と講習会「2年目に向けた作業について」